



市長記者会見資料
平成24年3月23日
消防本部 総務課

高岡市高機能消防指令センターの運用開始について

高機能消防指令センターは、住民からの災害通報を受付し、災害事案に最適な消防隊を自動的に選別し出動指令までの指令管制業務を行う、消防の中核機能である。

高岡市では、平成5年3月に全国に先駆けて、前システムである消防緊急通信指令システムを導入したが、運用開始から17年が経過し老朽化したことから、平成23年度事業として整備を実施したものである。

また、市民の安心・安全を守るという観点から、市民向け災害情報メール、聴覚障がい者向けのメール119などの機能を導入しており、市民サービスの向上に重点を置いた消防指令システムを整備した。

1 運用開始

平成24年4月1日より正式運用を開始する。

2 運用開始式の日程

- (1) 日 時 平成24年3月27日（火） 午後1時30分より
- (2) 場 所 高岡市消防本部 3階講堂
- (3) 内 容 式典、高機能消防指令センター内見
- (4) 出席者 市長、副市長、市関係者
- (5) 招待者 高岡市議会議長、高岡市議会議員（経済消防常任委員会）
氷見市長、砺波市長、小矢部市長、南砺市長、他

3 高機能消防指令センターの主な機能等（前システムから強化された機能等）

(1) 統合型位置情報通知システムの導入

統合型位置情報通知システムの導入によって、すべての緊急通報に対して位置情報が通知されることから、指令管制時間が短縮され、消防車等の現場到着時間の短縮に繋がることで、火災等による被害の軽減や救命率の向上が図られる。

※これまでは、携帯電話からの位置情報は通知できなかった。

(2) 車両動態システムの導入

GPSナビゲーション機能を有する車両端末装置を消防車等に搭載することで、緊急車の動態を一元管理できることから、災害発生地点直近の消防車等を自動的に選別して出動させることが可能となる。

(3) 災害出動メールの導入

各署所への音声や指令書による出動指令に加え、全消防職員・消防団員にメールを使った災害出動メールを送信して、緊急招集体制を整える。

(4) メール119システムの導入

聴覚障がい者の方がいつでもどこからでも緊急要請できるように、メールを利用した通報システムを整備する。（現在、緊急FAXで対応している。）

(5) 出動体制の強化

高機能消防指令センターの運用開始に合わせて、指揮隊の導入及び第1次火災出動台数を10台から12台に増強するなど、出動体制の強化を図った。